



国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター
令和6年度 第2回支援者向けセミナー

M-CHATの活用を通じた 発達障害児と家族への早期支援の充実

M-CHATは、自閉スペクトラム症の行動チェックリストで、早期発見におけるエビデンスを有するツールとして、乳幼児健診の場でも広く使用されています。本セミナーでは、M-CHATを活用して自閉スペクトラム症の早期発見と早期介入に取り組むための適切な使用方法を確認し、家族支援も含めた地域における早期支援体制の充実に向けて学びを深める機会とします。

プログラム

- ✓ 行政説明(厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 地域生活・発達障害者支援室) [約20分]
- ✓ 基調講演「M-CHATの活用を通じた発達障害児と家族への早期支援の充実」 [約90分]

基調講演 講師

神尾 陽子先生

神尾陽子クリニック院長／児童精神科医
お茶の水女子大学 客員教授
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 客員研究員
(元・国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
児童・思春期精神保健研究部 部長)



受講対象

- ◆ 福祉・保健/医療・教育分野における発達障害児者支援の従事者
- ◆ 行政職員(都道府県/指定都市、市区町村)

配信期間 【WEB開催】

令和7年1月15日(水)～令和7年3月31日(月)

右記QRコードまたはURLより事前申込み
(発達障害ナビポータル上の申込フォームに移動します)

<https://hattatsu.go.jp/2024seminar02/>

申込締切:令和7年3月20日(木)



申込方法

【主催】 国立障害者リハビリテーションセンター(企画・情報部 発達障害情報・支援センター)
厚生労働省

【後援】 文部科学省、こども家庭庁、国立特別支援教育総合研究所
発達障害者支援センター全国連絡協議会